

児童虐待に関わる専門職の人材育成について



【中野キャンパス】人文社会学部 人間文化学科 福祉コース 教授

齋藤 知子 Saito Tomoko

URL: [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード: 児童虐待・ソーシャルワーク・人材育成・司法福祉

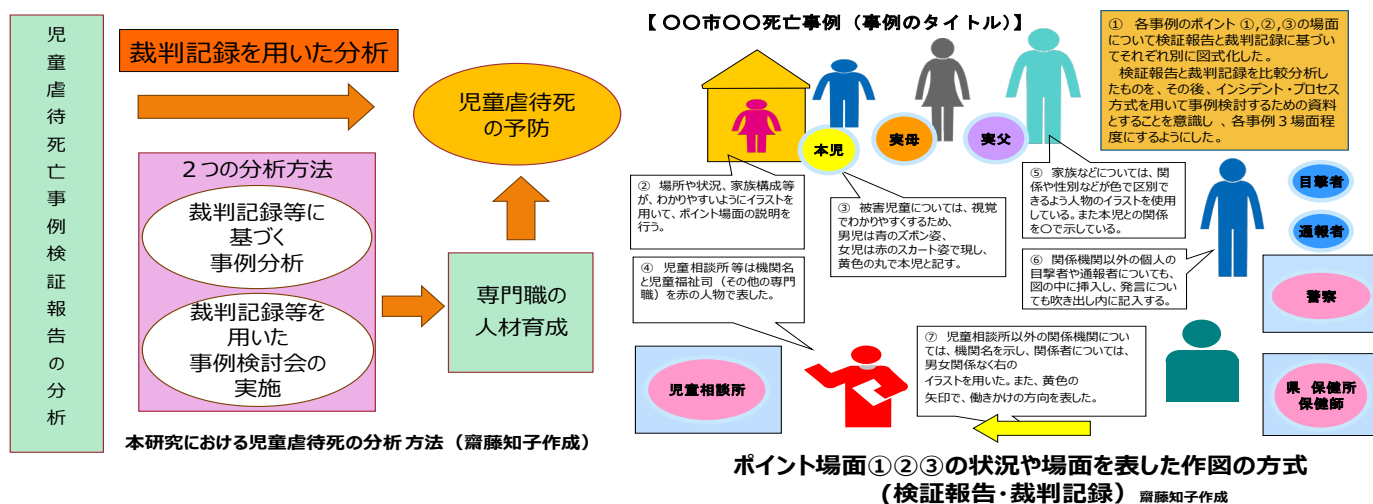


研究の概要

SDGs 目標 3: すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 10: 人や国の不平等をなくそう

本研究は、大きく2つの方法と目的がある。①行政機関が実施し報告している「児童虐待死亡事例検証報告」を参考にして、当該事例についての裁判記録等を閲覧し、事例研究をおこなうための資料を作成する。裁判記録を用いることで、親の供述や証人尋問から加害親の状況が明らかになる。②作成した資料を用いて、児童虐待に関わる児童相談所、児童家庭支援センター、市町村担当者などの専門職が、子どもの虐待を早期に発見し、適切に対応出来る人材となるよう育成するための、研修プログラムの開発をおこなう。個人が特定されないように配慮したものをを用いるが、実際の事例に近いので、リアリティがあり実践に生かしやすい。



② いつ、どこで、だれが、その家族にかかわり、どうして
いたら子どもを助けられたか、親の立場から家族
を知るために裁判記録を活用する。

① 家族の状況や関係機関との関わりなどを、いくつかのポイントとなる
場面を切り取り、図で示すことで研修の教材として使いやすい物と
なる。

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

研修プログラムで使用する教材は、裁判記録を事例研究に適用できるようにするためのフォーマットや表現方法を開拓し、従来の検証報告と比較を中核に据え、独自の分析を示したものである。裁判記録等を用いて事例研究をおこなうことで、検証記録だけでは到達し得なかったソーシャルワークの観点を示唆し、今後の児童虐待死防止に有効な介入方法等を考察することから、児童虐待に関わる専門職への有効な研修として、各自治体や関係機関で活用して欲しい。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【科研費】

- ・（基盤研究 C 23530751）「児童虐待死亡事例について司法記録等の分析から効果的な介入のポイントを検証する」
- ・（基盤研究 C 17K04704）「児童虐待対応専門職育成のための教育プログラムの開発」
- ・（基盤研究 C 23K02692）「児童虐待専門職のオンラインを用いた育成プログラムの開発」